

議会だより

# あやがわ



羽床小学校卒業式（平成30年3月16日）

2018  
No. 48

平成30年4月20日  
香川県綾川町

定例会	2~5P
委員会報告	6~9P
5議員の一般質問	10~14P
議会モニター会議	15P
議会モニター募集	16P



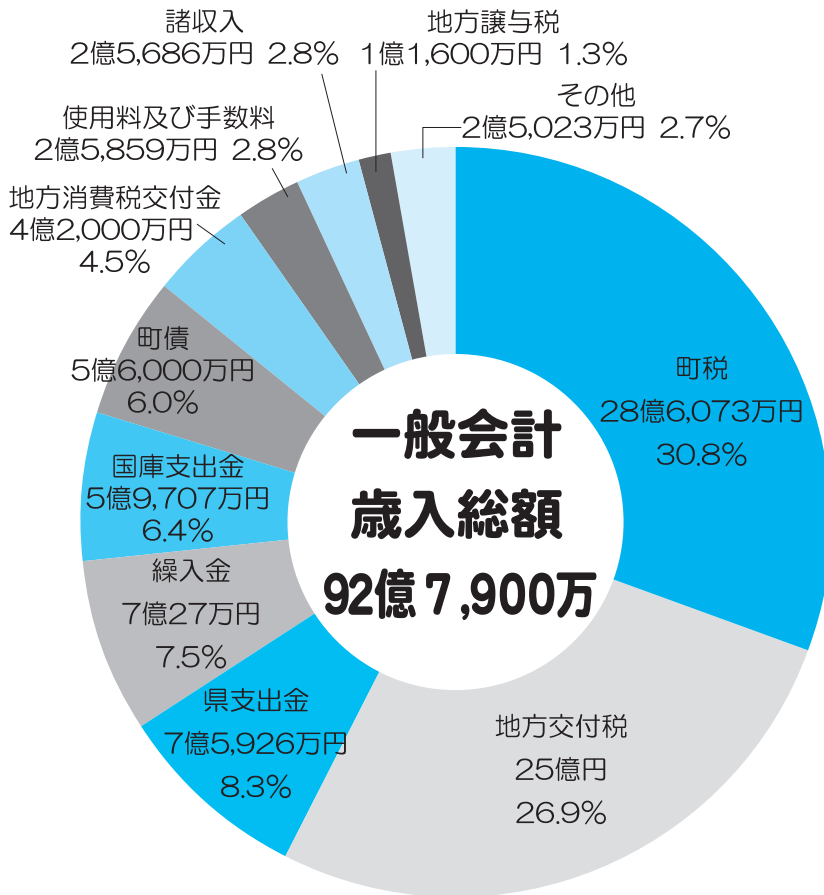
綾川町議会ホームページ

… 3月定例会…

# 滝宮認定こども園(仮称) 建設工事に 4億8500万円

# 当初予算 前年度比 1.7%増

## 財源



## 一般会計の主な新規事業

- ・防災行政無線更新整備事業 (1億1620万円)
- ・生活支援体制整備事業(410万円)
- ・民間宅地開発補助金(1千万円)
- ・まちなか土地活用促進奨励金(500万円)
- ・道の駅滝宮リニューアル設計業務 (2300万円)
- ・綾上中学校体育館天井改修工事 (3000万円)
- ・昭和小学校調理場ドライ化改修工事 (9500万円)
- ・昭和小学校体育館天井改修工事 (2500万円)
- ・夏のパワーアップ勉強会講師謝礼(60万円)
- ・無線LAN機器設置(800万円)

3月定例会は、2月28日から3月20日までの21日間の会期で開催した。

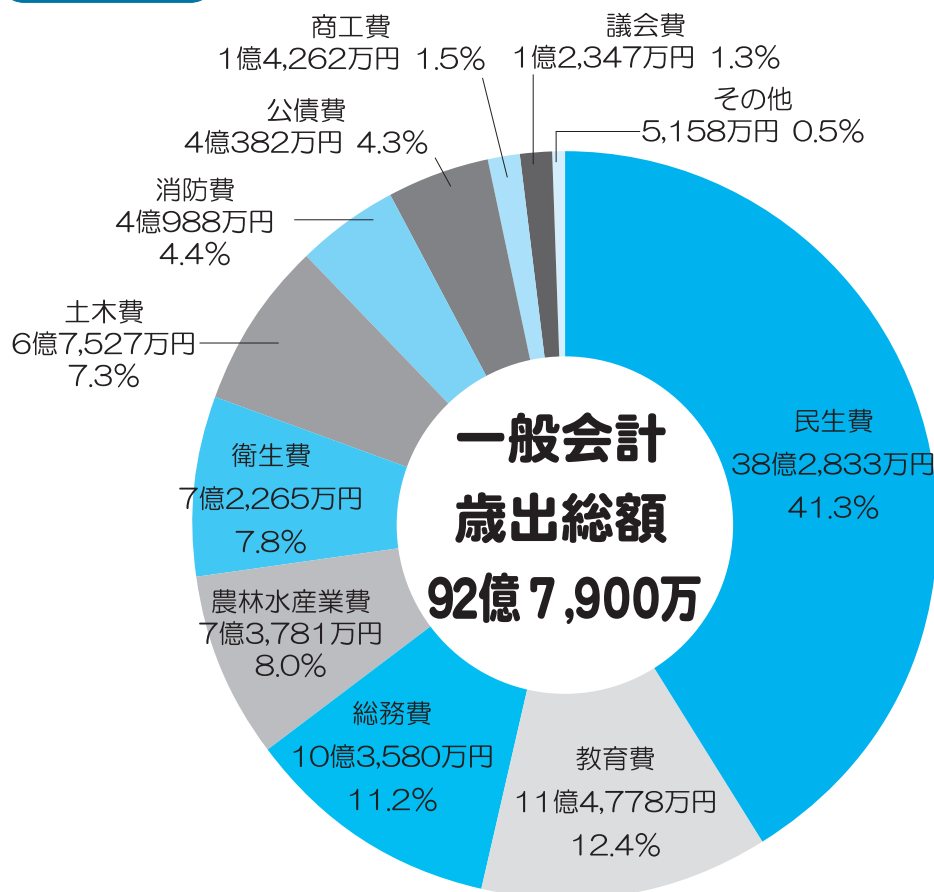
本会議初日には、町長から平成30年度施政方針と議案の提案理由の説明があった。3月2日に平成30年度当初予算の概要説明を受け、9日に議員が登壇して一般質問を行い、町執行部の考えを質した。提案された各議案を各常任委員会に付託し、散会した。

最終日の20日には、平成30年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算等、議案41件、報告1件、農業委員の任命同意等、追加議案4件をいずれも原案どおり可決し、閉会した。今回の傍聴は延べ12人であった。

# 平成30年度 一般会計

## 92億7,900万円

### 使いみち



### 公営企業会計

会計名		予算
陶病院事業	事業収益	12億9,109万円
	事業費用	13億6,832万円
	資本的収入	3,000円
	資本的支出	7,520万円
介護老人保健施設事業	事業収益	3億3,270万円
	事業費用	3億9,760万円
	資本的収入	1,134万円
	資本的支出	1,134万円

### 特別会計

会計名	予算
町営バス運送事業	5,605万円
国民健康保険	32億7,850万円
国民健康保険診療所	1億8,560万円
後期高齢者医療	3億5,787万円
介護保険	32億4,207万円
火葬事業	4,572万円
墓園事業	470万円
農業集落排水事業	1,000万円
下水道事業	4億1,050万円
育英事業	1,880万円





■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
固定資産評価委員の選任同意	原案可決
綾川町職員の退職管理に関する条例の制定	〃
綾川町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の制定	〃
綾川町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例の制定	〃
綾川町税条例の一部改正	〃
綾川町手数料徴収条例の一部改正	〃
綾川町保育所条例の一部改正	〃
綾川町認定こども園条例の一部改正	〃
綾川町国民健康保険条例の一部改正	〃
綾川町国民健康保険税条例の一部改正	〃
綾川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	〃
綾川町介護保険条例の一部改正	〃
平成30年度綾川町一般会計予算	〃
平成30年度綾川町町営バス運送事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町国民健康保険特別会計予算	〃
平成30年度綾川町国民健康保険診療所特別会計予算	〃
平成30年度綾川町後期高齢者医療特別会計予算	〃
平成30年度綾川町介護保険特別会計予算	〃
平成30年度綾川町火葬事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町墓園事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町農業集落排水事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町下水道事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町育英事業特別会計予算	〃
平成30年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計予算	〃
平成30年度綾川町介護老人保健施設事業会計予算	〃
平成29年度綾川町一般会計補正予算	〃
平成29年度綾川町町営バス運送事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町後期高齢者医療特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町介護保険特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町火葬事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町墓園事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町農業集落排水事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町下水道事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町育英事業特別会計補正予算	〃
平成29年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計補正予算	〃
平成29年度綾川町水道事業会計補正予算	〃
指定管理者の指定	〃
香川県広域水道事業体設立準備協議会の廃止	〃
綾川町水道事業会計に係る事業外積立金の目的外使用	〃
農業委員会委員の任命同意	〃
綾川町議会委員会条例の一部改正	〃
綾川町議会会議規則の一部改正	〃

■賛否が分かれた議案

議案の内容	議決結果
綾川町介護保険条例の一部改正	(賛14 反1)
平成30年度綾川町一般会計予算	〃

# 総務委員会

## 綾川町税条例の一部改正

●固定資産税の前納報奨金の率

コンビニ収納等により納税環境が大きく向上したことから、全国的な動きとして前納報奨金を廃止・低率化している状況にある。

問 今後は廃止の方向か。

答 すぐに廃止することは無いが、廃止の方向で進めていく。

## 平成30年度一般会計予算

●夏のパワーアップ勉強会

主に塾に通っていない中学3年生を対象に、夏休みに勉強会を開催。講師は包括連携協定を締結している四国学院大学の学生。

問 講師謝礼の単価設定はどのような基準で行っているのか。

答 時給1200円で1日7時間。学生12名で6日間実施予定である。

## 平成30年度綾川町営バス運送事業特別会計予算

法律の変更に伴い、運行管理者が1名から2名に増えたため増額。

問 バス路線の検討には、アンケート調査結果を反映しているのか。

答 アンケート結果を反映した上で、他の交通機関との結節の利便性を考慮し見直した。

## 平成30年度綾川町育英事業特別会計予算

継続貸付者を含め、大学支度金5名分、大学学資23名分、高校学資11名分、専修学校学資12名分相当額を計上。

問 連帯保証人が町内居住者2名という要件では、借りづらい制度となっていないか。保護者が連帯保証人となれる等、緩和できないか。また、入学時だけでなく、2年生からでも借りられるように変更できないか。

答 財源に税が入っておらず、寄付金のみで運営しているため、このような運用として。連帯保証人並びに2年生での貸付については、今後、育英事業審議会で協議していく。

問 保証人に代え、保証に保証会社を利用してはどうか。大学院、6年制の大学の対応はできないのか。

答 財源運用のシミュレーション等を行いながら育英事業審議会に協議したい。

## 第3次5カ年計画（主要事業実施計画）

●総合運動公園陸上競技場改修工事



総合運動公園

問 陸上競技場の第3種公認を受ける必要があるのか。また、公認を受けないのであれば、平成32年度予定の芝生の張替えは必要なのか。

答 公認を受けないのであれば、芝生の張替えは特に必要ではない。公認の必要性や人工芝の検討を含め、今後検討していく。

## 第3次綾川町行政改革実施計画

問 定員管理計画の人数が示されているが、正規の保育士職員が不足しているのでは。

答 保育士だけに限らず、全体的な配置計画を十分に検討しながら、採用等していく。

## 若者定住補助金等

問 住宅開発で滝宮地区の人口集中がみられるが、学校での学級、教室の対応は可能か。

答 開発は滝宮に多く控えているが、来年度の新1年生については、対応できる。現在、保育所の年中児童が65人程であり、規定で70人以上になると3学級となる。





長柄ダム

厚生常任委員会

平成30年度綾川町一般会計  
予算

**問** 長柄ダムでアオコの発生があつたが、1-4ジオキサンの水質調査はしているのか。

**答** 町内河川や処理施設の排水の環境調査を継続して実施している。1-4ジオキサンの調査は、県の指導も受けながら検討課題としたい。

**問** 太陽光発電補助事業の状況は。

**答** 平成28年度は54件、29年度は2月末時点で35件の申請があつた。平成30年度は50件を見込んでいます。

**問** 市町災害廃棄物処理行動マニュアル策定負担金は、どこに支払うのか。

**答** 30年度は、県が中心となり作成し、県内各市町が作成に要する経費を負担する。

**問** 臨時保育士の待遇は。また、臨時から正規採用はあるのか。

**答** 待遇については、他市町と比較しても悪くない。臨時保育士へ採用試験の受験を促している。

**問** 山田保育所の大規模改修工事の内容は何か。

**答** 外壁、内装、空調設備及びプール改修などを予定している。

**問** デイサービス運営事業と福祉電話貸与事業の利用状況は。

**答** デイサービス運営事業の平成28年度利用実績は、延べ8千901人である。福祉電話の貸与人数は現在71人である。

**問** 認知症施策推進事業の内容は。

**答** かかりつけ医と認知症サポート医が連携すること、軽度の認知症の方を早期発見することを目的に医師会へ委託している事業である。

平成30年度綾川町国民健康  
保険特別会計予算

**問** 町から納付金を納めた場合、町に入ってくる交付金はどのくらいか。また、率が決まっているのか。

**答** 交付金は、県がそれぞれの市町が必要であろう医療費を予測して交付される。年度途中で医療費の増減が

あつても、全額交付金で賄われる。

平成30年度綾川町国民健康  
保険診療所特別会計予算

**問** 常勤医師の確保はどのように対応しているのか。

**答** 医者不足の中で、毎年へき地医療協議会で医師増員を要望しているが、難しいのが現状である。

平成30年度綾川町後期高齢  
者医療特別会計予算

**問** 葬祭費が5万円から3万円に下がった経緯は。

**答** 葬祭費は香川県後期高齢者広域連合の議会で決定されたもので、高齢者の増加に伴い葬祭費の給付も増え続けており、保険料を上げずに維持するために葬祭費を下げるに至った。

平成30年度綾川町火葬事業  
特別会計予算

利用者からのアンケート結果による改善はあるのか。

火葬場での待ち時間の対応で、室内にキッズスペースを設けて小さなお子様連れの御遺族へ配慮したり、無料WiFiを設置し、スマートフォンを利用しやすい環境整備を計画している。

平成30年度綾川町国民健康  
保険陶病院事業会計予算

高松市民病院の移転開業による影響もあり、当初の見込みより更に厳しい経営になると思われるが、どう対応していくのか。

地域連携室に専従職員を配置し、病床利用率の向上を図りながら収益を増加させていく。医師や看護師、その他のスタッフ全員が患者に寄り添う医療を目指し、地域から信頼される病院となるよう努力していく。

平成30年度綾川町介護老人  
保健施設事業会計予算

現在の待機人数は何人か。  
約15人である。

平成29年度綾川町一般会計  
補正予算

後期高齢者健康診査等事業費

高齢者にとって福祉電話の貸与申請の条件が難しいようだが、簡素化できないか。

緊急時の対応のために必要なのでお願いしている。今後、希望者の申請については配慮したい。

●病児保育運営費

病児保育の利用者が多く、保育室の不足が懸念されるが、今後の対応をどのように考えているか。

既存施設での対応はできないが、計画中の滝宮認定こども園（仮称）において、病児保育室の整備を予定している。

●綾川町災害廃棄物処理計画

過去の台風16号のような水害が起きた場合、最終処分場の処理は可能か。埋立容量はどのくらいあるのか。

災害の規模によりブロック単位、また全県で広域処理を行う。また、最終処分場は、土堰堤の嵩上げを行うことにより、1万5千㎡程度の容量をさらに確保できる。

建設経済委員会

平成30年度綾川町一般会計  
予算

●農業費

農業委員会の新体制に伴う委員報酬の増額、イノシシ被害防止対策事業の増額、地域を支える集落営農推進強化事業補助の新規計上等。

●林業費

香川西部森林組合への高性能林業機械購入補助及び5年に一度実施する林道点検診断業務の新規計上等。

●商工費

企業立地用地確保支援事業の新規計上、道の駅滝宮の施設管理委託料の増額、道の駅滝宮リニューアル設計業務の新規計上等。

●橋梁補修費

舗装のひび割れ率調査として約10kmの路面性状調査費を計上。

●道路橋梁新設改良費

国庫事業では、橋梁長寿命化修繕計画に基づく7橋の橋梁補修工事費を計上し、平成30年度末で早期に措置する必要のある22橋の内、17橋の整備を終える予定。

●民間住宅耐震対策支援事業

耐震診断、耐震改修等の補助金を計上。

認定農業者育成支援事業の補助率は。

事業費の2分の1である。

舗装の路面性状調査に関連して、近年、水路への転落死亡事故や道路の路肩損傷、外側線が不鮮明な箇所が多々散見されることから、その調査時に危険箇所の把握・対策はできないのか。

緊急輸送路である町道21路線の舗装修繕を優先的に先行し、その整備を概ね終えたことから、今回、その他町道のうち約10kmの舗装



病児保育室でのようす



路面性状調査を行う。  
危険個所の対応については状況を見て、予算の範囲内で随時対応したい。

平成30年度綾川町下水道事業特別会計予算

マンホールポンプ施設の維持管理、流域下水道維持管理費負担金等が主なものである。

現在、企業会計への移行が要請されており、その前段として固定資産台帳の整備手法の検討を行う。

県単事業で管路工事、舗装本復旧工事の3件を予定。

平成29年度一般会計補正予算

農業費で、事業実績による認定農業者育成事業補助金、農業振興推進補助金及び農業振興施設整備補助金の減額補正。

事業費確定による県単土地改良事業費、町単土地改良事業費の減額補正。

県営土地改良事業費は事業費確定による増額補正。

林業費は、事業費確定による林道改良事業費の減額補正。

総務費の交通安全対策施設整備費は、事業見込みによる増額補正。

道路橋梁維持費は、除雪対応経費の増額補正。

土木費の土木総務費並びに道路橋梁新設改良費、急傾斜地崩壊防止対策費、民間住宅耐震対策支援費並びに災害復旧費の道路橋梁災害復旧費は事業費確定見込みに伴う減額補正。

平成29年度綾川町下水道事業特別会計補正予算

人件費2名分の減及び工事請負費、負担金等の事業費確定見込みによる減額補正。

綾川町移住・定住促進住宅入居者募集状況

事業者向け11戸のうち5戸、一般入居者向け7戸のうち2戸、合計で7戸の応募があり、近々に入居者決定を行う予定である。

**問** お試し住宅の使用料の額と、使用者が仮に住宅を汚損・損傷した場合や期日に退去をしない場合等の対応はどのようになるのか。

**答** 使用料は日額2千円。

懸念事項についてはお試しし住宅実施要綱を既に定めており、その規定に基づき対処することとなるが、その様な事態が生じないように適正な住宅管理に努めたい。

平成29年4月から平成30年2月までの「株式会社綾南プラザ」の経営状況

**問** 毎月赤字になっているので、経営を民間に委託するなど改革が必要ではないか。

**答** うどん会館リニューアルに向けて検討中。

決議文を採択

「讃岐うどん発祥の町」を宣言する決議（抜粋）

うどん文化は、全国各地に点在し諸説語り継がれているが、杉村重信著 発行の「寺車 龍頭院 さぬきうどん発祥地」には、当地のうどん文化の起源から昭和後期に至るまでのヒト・モノ・風土などを記している。この書によると、綾川町の象徴である綾川沿いに、明治あるいはそれ以前の江戸中期（他の書では8世紀）から、昭和の初中期に至るまで、上流の旧村所東村から滝宮村までの間に20の水車が在り米麦製粉などを生業とした水車業と米麦を生産する地域農民とのつながりの中で「うどん文化」が育まれたとある。

綾川町のうどん文化は、先人から受け継いできたひとつの大きな宝物であり、これからも後世へと引き継がれるべき財産である。そしてこのうどん文化を内外に広く情報発信すべきである。よって綾川町議会は、「讃岐うどん発祥の町」を宣言する。

綾川町議会



リニューアルを待つ「道の駅滝宮」の賑わい

**意見** 道の駅滝宮のリニューアルを行う上で、「うどん」は欠かせないものと考えている。本宣言が、後押しとなることを期待し賛成する。

**意見** 本町はこれまでも「うどん発祥の地」を謳ってきた経緯がある中で、改めて宣言を行うことは話題性もあり、良いことである。



中学校での部活風景



安藤利光議員

# 中学校における部活動指導員の配置は

## 平成30年度から2名配置の予定

**問**

スポーツ庁は、「生徒にとり望ましいスポーツ環境を構築する」という観点から、活動時間、休養日の設定、部活動指導員の配置を含むガイドラインを作成するための検討を行っている。教員の働き方改革にとっても、部活動の在り方の見直しは重要である。

中学校の部活動の指導や引率を行う指導員の配置支援については、どのように検討しているのか。

また、部活動指導員の導入は、人選や活用の仕方によっては部活動の過熱化に繋がるのではという不安の声もある。外部人材の活用は、学校現場の実情を踏まえ、保護者の理解を得ながら、学校の主体性を大切にして取り組むことが大切であると思うが。

**答**

教員の勤務実態調査では、土曜日・日曜日には、土曜日・日曜日に出向いて働いた割合は、小学校が53%、中学校が84%であり、土曜日・日曜日に勤務した時間は、小学校では「2〜3時間」が19・6%で最多であったのに対し、中学校では「8時間以上」が24・3%と最も多く、業務内容も部活動が8割を超えている。

現在、専門的スキルを要求される部活動で、競技未経験の顧問は綾上中学校で2名、綾南中学校で5名、部活動補助員を配置している。しかし、外部コーチは技術指導のみで、練習中は顧問が必ずいなくてはならない。そのため、外部コーチが教員の勤務時間削減に繋がることはない。

今回、働き方改革の中で、文科省が提唱した「部活動指

導員の設置」が実現すれば教員の代わりができる身分となる。平成30年度から2名ほど配置する予定である。





再生が待たれる道の駅「滝宮」



福家利智子 議員

# 道の駅「滝宮」整備は

## 検討を重ねていく

**問** 道の駅は、国の制度発  
足から20年余りが過ぎ、  
地域独自の資源を発掘し、磨  
きをかけていくことで、地方  
創生の有力な牽引力になると  
期待されている。

国交省では、道の駅の進化  
を第二ステージと位置づけ、  
高齢化や人口減少の進行、大  
規模災害の発生などを見据え、

地域の拠点としての機能強化  
に乗り出している。

**答** 今回の道の駅「滝宮」の再  
生に向け、効果的な取り組み  
は。

新たな施設整備を行う  
にあたり、公設で行う  
方針である。内装等はテナン  
トに任せる割合を多くする等、  
民間の資金やノウハウを発揮

してもらえよう、新しい道  
の駅の施設整備に反映したい。  
そして、綾川町の地域資源を  
発掘し、更なる地域の活性化  
に寄与できる施設となるよう、  
検討を重ねていく。

# 災害時のペット対策は

## 各団体と連携、協力体制を確立する

**問** 東日本大震災・熊本地  
震では、ペットが飼い  
主と離れ離れになり、自宅に  
置き去りにされたまま亡くな  
るケースも多くあった。

ペットの受け入れ可能な避  
難所の整備やペットとの同行

避難訓練等、ペットの災害対  
策について、どう取り組むの  
か。

**答** 町は、動物愛護、動物  
由来感染症及び環境衛  
生の観点から、これら被災動  
物の避難所での適切な飼養管

理や、保護収容、治療に関し  
て、県等関係機関や香川県獣  
医師会、県動物愛護団体等と  
連携、協力体制を確立し、飼  
い主の支援及び被災動物の救  
護活動体制を進めていく。





小学校での外国語活動の様子



井上博道議員

# 教育の町にふさわしい小学校外国語教育を

## より一層、授業改善に積極的に取り組む

**問** 2020年度から、小学校での外国語（英語）の教科化が始まる。真の「コミュニケーション力」は「読む、書く、聴く、話す」の総合力であると思う。従来の英語教育では「相手の話がある程度は理解できても、自分の思っていることが話せない」等が指摘されてきた。

英語さえできればグローバル市民になれるというわけではなく、世界の多様性、言語や文化の多様性等を認識する教育も必要である。

「これこそが綾川町の教育だ」を内外に示す必要があると思うが、教育の町にふさわしい小学校外国語教育についての本町の考えを問う。

**答** 英語を学ぶメリットは、英語を楽しむ、親しむことにより、興味につながり、英語に対する抵抗感が無くなることである。デメリットは、現在の授業時数の上に英語の授業時数が増えることによる児童の学習負担の増大。また、英語指導をしたことが無い教員の指導に対する不安が増大している。

英語教育充実のための小中学校連携事業により、教科としての学習指導と評価の充実を図る。また、英語教育についての小・中学校の相互理解を図り、小学校での学びを踏まえた中学校の授業改善につなげる。

英語を母国語として使って

いるALT（外国人指導助手）、英語を専門に学習してきたJTE（日本人英語指導助手）や中学校英語科教員が学級担任以外に教室内に1人はいる状態になるので、生きた英語をより身近に感じることができると考える。

教育委員会としては、今後も、全国学力学習状況調査や、県学習状況調査、町学力標準調査、各学校で行っている学力テストや授業中の観察等から適切に評価をし、一人ひとりの子どもたちの未来に向かっての可能性が広がるよう、より一層授業改善に積極的に取り組むよう指導助言する。



除雪を行う町道



大野直樹議員

## 積雪時の町道の管理は

### 地域防災計画に基づき対応していく

**問** 高齢化が進む中、今年の様なドカ雪により、生活に大きく支障が出る人を把握しているか。また、積雪等の自然災害時の住民との連絡体制はどのように考えているのか。

**答** 今後、冬季の交通網を見直す必要があると考えるがどうか。この度の積雪で、山間部等で路面凍結が解消しない箇所があり、町営バスの運休が生じた。高齢者、一人世帯等の要配慮者（災害弱者）の対象者把握や連絡体制、その安全確保は、大雨・洪水対策や地震対策と同様に地域防災計画に基づき対応していく。冬季の交通確保は、今以上に関係各課、委託業者間との連携を深め、研究していく。

### ゴミの不法投棄の対策は

### 監視カメラや啓発看板の設置に努めている

**問** 警察と連携した対策をどのように考えているのか。  
①自衛対策（看板・花壇・監視カメラの設置）への補助金はどうなっているのか。  
②美化された町を次世代に継承していかなければならないが、どのように考えているのか。  
③町民による「まじびつへん」

**答** を進めるため、様々なポイント制度とリンクさせたボランティアの仕組み作りはできないか。  
ヘリコプターによる上空からの監視活動に町職員も同乗し、不法投棄に目を光らせている。看板には罰金等を具体的に表示し、悪質な場合は高松西警察署へ通報を行っている。

①自衛対策に対する補助金等はないが、各種団体による清掃活動に対して、ごみ袋の現物支給や収集後のごみ処理は対応している。  
②各協力団体等と情報交換会を行っている。  
③ポイント制度については、今後の研究課題としたい。



土曜一日保育のようす（子育て支援施設きらり）



川崎 泰史 議員

## 日曜・祭日保育の取り組みは

### 民間施設の活用も含め、調査検討を行う

**問**

綾川町では土曜終日保育や病児保育等、先進の事業を行っているが、日曜・祭日保育はどうするのか。

**答**

日曜・祭日保育は、保護者の就労状況や子どもを取り巻く保育環境の変化から、必要になってきている。土曜一日保育では1日2人から11人、平均6人の子どもが保育を受けている。日曜・祭日保育についての問い合わせもある。民間施設の活用も含め、今後、調査検討を行い、子ども福祉の増進を図りたい。

## 認知症とどう生きるのか、もしもの時

### 町による個人賠償責任保険への加入は 研究課題としたい

**問**

認知症の方が引き起こした事件、事故に対して、家族の不安を解消するため一部の行政が個人賠償責任保険に加入するようである。年予算は20万円程度で、1人あたりの年間保険料は2千円程度とのこと。

**答**

在宅による医療介護連携を進める中、綾川町でも検討する価値があるのでは。認知症の介護、特に徘徊等の症状のある方の場合に、心身の負担があることは明らかで、負担軽減は大切な施策。

しかし本来、個人が加入する賠償保険制度であると考えられる。また町では、家族だけでなく、周囲から多くのサポートが得られることを重視した施策に取り組んでいる。個人賠償責任保険への加入は今後の研究課題としたい。



# 議会モニター 大いに語る座談会

## 第4回議会モニター会議(2/1)

本会議を傍聴して

**森 英彰**

一般質問  
一括質問方  
式は全ての  
答えが後からとなるため、非常  
に分かりづらい。一問一答方式  
にできないか。



**岡 宏美**

12月に羽  
床小学校の  
生徒が傍聴  
に来ていた  
が、他の学校の生徒も傍聴に来  
てもらいたい。実際に自分の目  
で見るとは大変重要なことと  
考える。



**松内 広平**

傍聴席の  
定員の関係  
で、児童数  
の多い学校  
は人数的に入りきらないのであ  
れば、各学校で10名程度を選抜  
する方法でも良いのでは。



また、議会モニターには、委員  
会の傍聴もできるというような  
特権を与えられてもいいのでは。

議会広報誌・議会ホームページについて

**山田 泰史**

議会モニ  
ターとして  
2年間参加  
したが、こ  
の間、良くなってきたと思う。



**森 英彰**

議会広報の表紙について、毎  
年、同時期ではよく似ていると  
感じる。12月号であれば、傍聴  
の小学生を前面に出す等、工夫  
があっても良いのでは。

**松内 広平**

毎回の傍聴者数を入れてもい  
いのでは。

その他

**松本 ヨシエ**

選挙の期  
日前投票の  
宣誓書記載  
について、  
記載場所が混んで、投票までの  
時間がかかることがある。事前  
に記入して持参できるように、  
入場券と併用できる様式にでき



ないか。

**南 スミ子**

旧綾上町  
内には、廃  
校の小学校  
が複数ある。  
旧西分小学  
校の近くには、有名なしだれ桜  
があり、多くの見物客で賑わっ  
ている。休園の西分保育所と合  
わせて、何らかの形で利用でき  
ないか。



**岡 宏美**

役場窓口等での挨拶ができて  
いない時がある。丁寧な対応を  
心掛けて欲しい。

**森 英彰**

「いいひと いいまち いい  
えがお 住まいるあやがわ」と  
いうキャッチフレーズを目にし  
るが、どういうものなのか。

**議員**

合併10年を経て、綾川町  
の今後10年間を見据えて策定さ  
れた、第2次総合計画のキャッ  
チフレーズである。100人委員会  
での意見を基に作られたもので、  
まちづくりの方向性を示したも  
のである。



第4回議会モニター会議(2月1日)

※会議内容は、紙面の都合上、  
一部のみ掲載させて頂きまし  
た。

## 議会モニターを募集します!!!

本会議を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧頂いて、意見や提言を頂きます。

- 【応募資格】 1. 満18歳以上の町民の方  
 2. 町議会の仕組みや運営に関心がある方  
 3. 町政や地域社会の発展に関心がある方  
 4. 年2回程度のモニター会議に参加できる方

【募集人数】 10名（応募者の中から選考し、議会議長が委嘱します）

【任 期】 委嘱された日～2020年3月31日 ※報酬なし  
 ただし、定員に満たない場合は、上記までの任期で随時募集します。

【申込方法】 官製はがきまたは応募用紙に、住所・氏名・性別・生年月日・電話番号・職業及び応募の理由・自己アピールを記載頂き、郵送または議会事務局へ直接ご持参ください。なお、応募用紙は町議会ホームページからダウンロードして頂くか、議会事務局でもお渡ししています。

【募集期間】 2018年4月23日(月)～5月14日(月) 午後5時必着

【問合せ先】 綾川町議会事務局 〒761-2392 綾川町滝宮299番地  
 (TEL) 876-0733 (FAX) 876-3660



あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入するだけです。

次の定例会は、6月の予定です。お気軽にお越しください。

※議場内での撮影、録音、飲食は禁止です。



全国町村議会議長会表彰

議員表彰

議員在職15年以上

田辺健次議員

議員在職27年以上

石井和義議員

議員在職27年以上

野中邦夫議員

議員在職15年以上  
及び特別表彰

鈴木義明議員

編集後記

●平成30年度の予算を決める3月定例会は、活発に意見が交わされ慎重審議の結果、原案どおり可決・承認しました。

町民の皆さんが健康で、笑顔の絶えない「住んでよかった」といえる町づくりを目指していきます。

●次回から編集委員が交代します。読者の目線に立ち、読みやすく分かりやすい広報誌づくりに努力してまいります。  
 2年間ありがとうございました。

議会広報編集委員会

委員長 安藤 利光  
 副委員長 三好 重徳  
 委員 大野 直樹  
 委員 岡田 芳正  
 委員 井上 博道  
 委員 田辺 健次